

# 秋田更生保護

第75号  
発行所  
秋田市山王7-1-2  
更生保護法人  
秋田県更生保護援助協会  
(編集)  
秋田更生保護編集委員会  
(題字)  
小熊良悦  
(印刷)  
株式会社アクティス

令和4年1月1日現在  
保護司数 688名



令和四年を迎えて

秋田県保護司会連合会

会長 新野建臣

## 迎春



春のハーモニー (水面に映ったバンガロー) 由利本荘市

(撮影 川村 泰三)



新年明けましておめでとうございます。  
一昨年以来、日本も世界も新型コロナウイルス感染症の蔓延で大きく揺り動かされてきました。日本では昨年秋頃から感染者数は減少傾向にありますが、まだまだ予断を許さない状況ですが、政府の対策も万全の方向に進んでいるようですので、このまま沈静化しますことを祈っています。  
コロナ禍で、会議等も機器を利用して行われることが多くなりました。折角手に入れた方法なので、これを最大限活用しながら、対面での活動も組み合わせ、更生保護活動がより効果的に行われることを願っています。  
本年は昨年引き続き、秋田県保護司会連合会では、保護司適任者の確保に向け各地区保護司会には、地方公共団体をはじめ、各種団体に働きかけながら、

保護司候補者を推薦していただけるようにまた保護司同士、真剣にアプローチして周囲に候補者を見い出せるように努力を重ねて行ければと考えます。  
さて、秋田県をはじめいくつかの市で、「再犯防止推進計画」が策定されています。本年中には、さらに多くの市町村で再犯防止の取り組みがなされると思われれます。秋田県保護司会連合会でも再犯防止の活動に一層協力し、また各地区保護司会においても、市町村に何度も足を運んで地域の再犯防止の活動に少しでも役に立てればと念じています。

最後になりましたが、皆様の  
本年一年のご多  
幸をお祈り申し  
上げます。





# 謹んで新年のご挨拶を申し上げます

令和四年 元旦



秋田保護観察所  
所長 山田 通晴

### 信頼

皆様を信頼し、皆様から信頼される更生保護行政を目指します。



特定非営利活動法人秋田県就労支援事業者機構  
会長 伊藤 萬治郎

### 奉仕の心

犯罪や非行をした人々の社会復帰を目指し、自らの仕事を通して、仕事の喜びを与えて、社会貢献をして行きたい。



秋田県 BBS 連盟  
会長 菅原 大

### 平穩無事

コロナにより変わらない日常が続くことが決して当たり前でないことに気づかされました。少年たちが穏やかな日常を過ごせるよう努めてまいります。



更生保護法人秋田県更生保護援護協会  
理事長 小畑 悟

### 天人合一

常に天然・自然の働き、道理に心し、自分の行いに役立てる。



更生保護法人秋田至仁会  
理事長 加藤 忠輔

### 和を以て貴しとなす

何事をするにも、協和、協調を重んじしっかり議論し物事にもあたる一年でありたい。



秋田県更生保護女性連盟  
会長 太田 宥子

### 一陽来復

春の兆しを表現。新たな年がコロナ収束で、輝く年になることを祈念します。



10月26日、ホテルメトロポリタン秋田において当協会の研修会が開催され理事・監事の方々の出席のもと、郷土史研究家小松和彦氏による「秋田県に伝わる道祖神」と題しましてご講話頂き、大変有意義な研修会となりました。

## 秋田県更生保護援護協会

## 更生保護関係団体の動き

★長年のご功勞により、次の方々に感謝状が授与されました。

- ・東北地方更生保護委員会委員長表彰 田口昭一理事 布谷博理事
- ・秋田保護観察所長表彰 和田仁理事 尾形和雄理事

### 篤志者寄附金の御芳名

一金 二十万円  
櫻田 元宏 様

当協会運営に対しましてご寄附を戴きました皆様、また普通会员・賛助会員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

### 協会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染防止のため県内12地区保護司会へマスク・消毒液を購入し、配布しました。また、秋田至仁会には食堂用のアクリル板を購入しました。



秋田県保護司会連合会

★ブロック別更生保護活動研究会開催

今年度は秋田県保護司会連合会が主催、3地区(大館、本荘、大曲)が

主管となり、「統一テーマ「薬物事犯者への関わり方」」についてをワークショップ形式で開催いたしました。初の試みでしたが柳沢和子保護司が進行役となり、3地区それぞれ工夫を凝らしての進め方で無事に終了しました。



大館地区(県北) 10/15  
大館市中央公民館

ワークショップでアドバイスをする柳沢保護司



新野県連会長のあいさつ



本荘地区(県央) 10/20  
由利本荘市カターレ

主管として挨拶をする村山本荘地区保護司会長



アドバイスをする山田所長



大曲地区(県南) 10/12  
大仙市農村改善センター

分科会での討議の様子



山田所長の講評の様子

★サポートセンター運営協議会開催

10月28日(木) ホテルメトロポリタン秋田にて県内12地区保護司会企画調整保護司等38名出席のもとサポートセンター協議会を開催しました。本事業は昨年から試行的に開催



zoomの操作方法の勉強中

されており、今年度の重点目標「ICT化推進事業」の一環としてZOOMの操作方法について秋田保護観察所職員、パソコンインストラクターを講師に迎え、招待メールの受け取り方等と真剣に向き合い研修を行いました。



パソコンとにらめっこする参加者

★理事の補充

新たに1名理事を補充しました。

伊藤 妙子(秋田地区)



★男鹿地区更生保護サポートセンター移転しました。

〒011-0151  
男鹿市船川港船川字片田七四  
男鹿市保健福祉センター(内)  
電話・FAX変更ありません。

# 秋田至仁会

## 依存症対策について

今回は、当施設で行なっている各種依存症者への支援について御紹介いたします。現在、秋田至仁会は薬物処遇重点施設として国の指定を受け、薬物依存症の入所者に個別で薬物再乱用防止プログラムを実施しています。

入所者の中には、薬物以外にも、アルコールやギャンブル依存者が多く、依存症から生活が破たんし、窃盗や詐欺等の犯罪につながっていることも少なくありません。

そのため当施設では、特定非営利活動法人秋田マツクの協力で、毎月第二・四水曜日の夜に、合同ミーティングを開催しています。入所者からは、「ミーティングに出て、自分がギャンブル依存症だったことに初めて気付いた」など、参加してよかったとの感想をもらっています。

再犯防止のため、今後もこうした活動を続けていきます。



# 秋田県更生保護女性連盟

## 「法務大臣感謝状・日本更生保護女性連盟会長表彰」受賞を祝う会

七月十六日、ホテルメトロポリタン秋田にて秋田保護観察所長山田通晴様、企画調整課長島山清寿様ご臨席の下、三名の受賞者が出席され開催されました。(一名所用により欠席) 法務大臣感謝状

柳田 亮子(鹿角)  
日本更生保護女性連盟会長表彰  
加藤満喜子(藤里) 石黒かほる(秋田)  
山谷 牧子(協和)



## 「東北地方更生保護女性会員研修会」

九月十六日、コロナ禍にあっても各県連盟における活動の充実と発展を図るべく、テレビ会議方式で各県保護観察所を会場に規模を縮小し開催されました。秋田県からは東北地方更生保護女性連盟太田宥子会長始め十名の会員が参加しました。始めに日本更生保護女性連盟千葉景子会長から、今コロナ禍により思うようには行動できないが、こんな時こそじっくり将来を見据え、急がず、焦らず、おこることなく、なし得る一步一步を着実に踏みしめていきましょうというビデオメッセージが披露されました。

「子育て支援地域活動」モデル地区発表では、大館地区更生保護女性の会伊藤さより会長が①会員手作りマスクで学校支援②会員手作り雑巾を学



校に寄贈③夏休み子供支援(読み聞かせ、おやつ作り)④中学校図書館での見守り⑤朝の挨拶声かけ運動等の活動を発表しました。

また研修討議、主題「地域から、より頼られる更生保護女性会を目指して」副題1「食を生かす地域のつながりと子供の健全育成について」の意見交換では、二ツ井地区更生保護女性の会齊藤正子会長が①食は生きる力で非行防止につながる②秋田至仁会での月三回の夕食作り(おふくろの味)③学校での事例(地場産の食品↓ふるさと教育↓健全育成につながる)等を紹介し、地域に寄り添った活動の輪を広げたいと発表しました。また副題2「東日本大震災から十年が過ぎ、改めて災害時の活動について」では、宮城県更生保護女性連盟加藤登美子会長から秋田県更生保護女性連盟には十年間毎年震災孤児育英基金の御支援と、被災地の方々への激励に、心から感謝していますというお言葉を頂きました。

講評として、東北地方更生保護委員会大場玲子委員長から更生保護の心で地域の課題を見つけ、普通の生活の中で普通にできる活動を少しずつでも繋げていきましょうというお言葉を頂きました。

次年度宮城県石巻市で笑顔での再会を願う閉会致しました。



秋田県就労支援事業者機構

今年度、当機構で新たに開始した「お試し雇用」の活用事例について、ご紹介いたします。

① 農業アルバイトの事例

無職状態が続く対象者に、担当保護司がアルバイトを勧め、就労開始。本人は、同僚との会話を通し「本格的に仕事探しをしてみたい」という気持ちが起こり、約1月間のアルバイト後、本格的な求職活動を開始した。

② 食品製造就労体験の事例

通信制高校のスクーリングに登校する以外は、自宅にひきこもる生活の対象者に、食品製造の就労体験を勧め、就労体験を開始。

雇用主から、熱心に作業に取り組む姿を褒められているうちに、本人は次第に明るさを取り戻し、元気な姿を見せるようになり、3回の就労体験を終了した。

★「お試し雇用」とは？

保護観察対象者等に短時間短期間の就労を提供し、就労への動機付けを図るもので、雇用主(二種・三種会員)には、賃金等の一部を助成するものです。積極的な活用をお願いいたします。

秋田保護観察所

改正少年法が2022年(令和4年)4月1日に施行されます。

少年法の仕組み

1. 罪を犯した少年の処分

- 少年の事件は、全件が家庭裁判所に送られ、家庭裁判所が処分を決定します。
- 家庭裁判所が決定する処分には、検察官送致(逆送)、保護処分などがあります。
- ▷ 逆送決定された後は、原則として検察官により刑事裁判所に起訴され、懲役刑、罰金刑などの刑罰が科されます。
- ▷ 保護処分には、少年院に収容する少年院送致と社会内で保護観察官や保護司の指導を受ける保護観察などがあります。

2. 「逆送」される場合

- 家庭裁判所が保護処分ではなく刑罰を科すべきと判断した場合に、逆送決定がされます。
- 重大な事件(原則逆送対象事件)(※1)については、原則として逆送決定がされます。

(※1) 現在の原則逆送対象事件は、16歳以上の少年のとき犯した故意の犯罪行為により被害者を死亡させた罪の事件です。

少年事件の手続の概要



改正少年法の主なポイント

ポイント① 少年法の適用

- 18・19歳も「特定少年」として引き続き少年法が適用され、全件が家庭裁判所に送られ、家庭裁判所が処分を決定します。
- ただし、原則逆送対象事件の拡大や逆送決定後は20歳以上の者と原則同様に取り扱われる(※2)など、17歳以下の者とは異なる取扱いがされます。

(※2) 例えば、有期懲役刑の期間の上限は30年(17歳以下の少年の場合は15年)になります。

ポイント② 原則逆送対象事件の拡大

- 原則として逆送決定がされる原則逆送対象事件に、18歳以上の少年(特定少年)のとき犯した死刑、無期又は短期(法定刑の下限)1年以上の懲役・禁錮に当たる罪の事件(※3)が追加されます。

(※3) 例えば、現住建造物等放火罪、強盗罪、強制性交等罪、組織的詐欺罪などが該当します。

ポイント③ 実名報道の解禁

- 少年のとき犯した事件については、犯人の実名・写真等の報道が禁止されていますが、18歳以上の少年(特定少年)のとき犯した事件について起訴された場合(※4)には、禁止が解除されます。

(※4) 略式手続(非公開の書面審理により一定額以下の罰金・科料を科す手続)の場合は除きます。



「お試し雇用」活動の様様

秋田県BBS連盟

★第七十一回社会を明るくする運動 月間広報活動/秋田矯正展とも中止

★第五十四回秋田県更生保護大会 十一月十一日、ホテルメトロポリタ

ン秋田で開催され、秋田地区二人、能代地区一人が表彰された。

★「ハング・ルーズ」青年教室の通年開催/天使園学習ボランティア

新型コロナウイルスの影響により活動休止。再開に向けて検討中。

新しい年が平穏でありますことを心よりお祈り申し上げます。

# 第54回秋田県更生保護大会

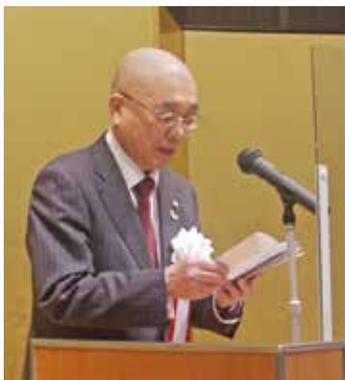
去る令和3年11月11日(木)、ホテルメトロポリタン秋田にて、東北地方更生保護委員会遠藤勇一部長委員ほかご来賓のご臨席の下、約60人出席し、第54回秋田県更生保護大会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から規模縮小して開催の運びとなりました。

顕彰式典では、新野建臣秋田県保護司会連合会会長の式辞、山田通晴秋田保護観察所長のご挨拶、続いて、

県下の更生保護事業にご功績のあった方々の顕彰(叙勲・藍綬褒章、法務大臣、各表彰の代表)を行いました。受章者を代表して潟上湖東地区大村田稔保護司から謝辞を述べられました。

その後、小橋常和秋田地方検察庁検事正からご祝辞をいただきました。

終わりに今後ますますの更生保護の発展を祈念し、大会は終了しました。



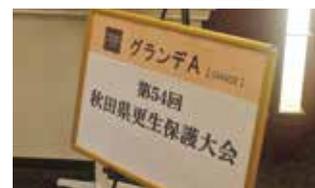
新野会長式辞



会場正面



ホゴちゃんもお出迎え



大村田保護司による謝辞



山田所長あいさつ



田口氏への表彰状伝達

当日は各地区サポセンへズーム配信しました。



お知らせ

第31回東北地方更生保護大会  
第55回秋田県更生保護大会

令和4年 **11月11日(金)**  
秋田芸術劇場「ミルハス」  
で開催予定です。



法務大臣表彰受章者



# 年男・年女の抱負



① 今年の夢・希望 ② 尊敬する人 ③ 座右の銘



横手地区保護司会  
菅 永義

- ① 日々の暮らしの中で心を磨き、その心を保護司などの仕事に活かしていきたい。
- ② 第二次世界大戦を境とする戦前、戦後の変革期を生き抜いた両親。
- ③ 日々精進



角館地区保護司会 (更女)  
佐々木加奈子

- ① 健康に注意し、楽しい日々をこれからも暮らすことを夢んでいます。
- ② 今は亡き両親
- ③ 健康第一



秋田地区保護司会中央支部  
常盤 誠

- ① あまり背伸びをせず、できることを確実に、一日一日を重んじて過ごしたい。
- ② 福澤諭吉(福澤心訓七則が大好きです)
- ③ 平凡を重ねていけばいつかは非凡になる



秋田県就労支援事業者機構  
遠藤 直

- ① 健康第一に、1%の可能性にチャレンジし続ける。
- ② 齋藤憲三先生
- ③ 宿命に生き、運命に挑む

## 一筆啓上

### 「学校と連携した広報活動と郷土民俗芸能」

令和三年十月十一日、秋田市にぎわい交流館なかいち多目的ホールに於いて、感染症対策を講じ、約八十名の参加の下、今回で十三回目を数える、社会を明るくする運動、作文コンテスト表彰式をメインに、広報DVDを通して更生保護活動への理解と協力を得ることを目的として開催をいたしました。

秋田市無形民俗文化財の三皇熊野神社の獅子舞神楽のご披露もしていただき、悪しき疫病の鎮静への願いを込めた御神札が参加者へ配布されました。表彰式の最後には、犯罪や非行のな



(文責 常盤)

い社会づくりを目指した自分の考えを素直に表現した優秀作品の朗読を傾聴し、世の中の安寧と情勢の早期回復、そして犯罪の無い明るい社会への願いを皆が新たにし散会いたしました。



「みず田の風景」



伊藤 容一郎  
(元潟上湖東地区保護司)

#### 説明

五月、田んぼの美しい情景を、のびのびと明るく描きました。

※伊藤氏は日展で数々入賞されております。

栄誉に輝く  
叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章

(令和三年十一月三日)

令和三年度秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。  
永年の御功勞・御功績によりめでたく受章されました皆様にご心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

(敬称略)

叙勲

(更生保護功勞)



高 桑 和 雄  
(男鹿保護区)

藍綬褒章

(更生保護功績)



鎌 田 信 男  
(秋田保護区)

叙位

従六位 (令和3年9月3日付)

多 田 了 法 (元秋田地区保護司)

保護司の異動

依願解嘱

(令和3年8月31日付)

(敬称略)

根 一 (潟上湖東)

任期満了 (令和3年11月30日付)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。

(敬称略)

- 池田和男(能代)
- 奈良和子(大館)
- 八木橋雅孝(大館)
- 伊藤孝志(横手)
- 伊藤隆暁(横手)
- 富塚俊朗(大曲)
- 佐々木文雄(大曲)
- 佐藤孝(大曲)
- 杉澤直(大曲)

新任 (令和3年12月1日付)

次の方々が委嘱されました。よろしくお祈りします。今後の御活躍を期待します。

(敬称略)

- 嵯峨偉喜子(秋田(東))
- 須田道悠(秋田(東))
- 柴田和明(秋田(臨港))
- 菅野紀道(秋田(臨港))
- 土田満貴子(秋田(臨港))
- 林多実(秋田(臨港))

- 石坂公栄(潟上湖東)
- 五十嵐英美子(能代)
- 高田綾(能代)
- 明石宏康(大館)
- 石垣博隆(大館)
- 金田隆佳(大館)
- 木次谷龍昭(大館)
- 柴田昌子(大館)
- 鳥潟栄功(大館)
- 湯沢栄治(北秋田)
- 斉藤修子(鹿角)
- 柿崎信雄(湯沢)
- 赤平一夫(湯沢)



社明作文コンテストについて

第71回社明作文コンテストに県内小・中学校から五二九点の応募をいただき優秀賞小学生の部三名、中学生の部二名が選ばれました。表彰は、コロナ禍のため各地区会から伝達していただきました。なお優秀賞作品は全国コンテストに推薦されます。作品は更生保護大会資料に掲載しております。皆様方のご協力ありがとうございます。

更生保護支援ボランティアふれあいサークル

会員募集!!



どなたでもいつからでも大歓迎です！ボランティアやってみませんか？身寄りのない刑余者の方を月1回、会員2名で訪問しております。40代～80代の会員が活動しております。関心のある方はご連絡を!!お待ちしております。連絡先：090-4067-8107(千葉)

編集後記

新年おめでとうございます。令和四年がスタートしました。昨年は、やはりコロナで翻弄された二年だったと思います。パンデミックなどの言葉は、遠い世界での出来事のように思っていました。昨年はその大きな渦に飲み込まれてしまいました。日常の生活も様変わりました。手洗い、うがい、消毒はもちろんのこと、どこに行くのもマスクです。果たして、もとの生活に戻るものなのかとても心配です。ただ、これまでそのような困難を何度も乗り越えてきています。なんとか持ちこたえて、我慢してそして今年こそ、本当に良い年になつてほしいものです。加賀谷文秋

編集委員

- 櫻田 元宏 (編集委員長)
- 加賀谷文秋
- 北林 暢子
- 島山 清寿
- 菊地 皆美
- 金山 智紀
- 伊藤 妙子
- 柿崎 敦